

1 開催日時

令和4年8月17日(水) 14:00~14:50

2 開催場所

本庁舎1階 Web会議スペースA
(札幌市中央区北3条西6丁目)

3 出席委員

鈴木 将史 部会長(国立大学法人北海道国立大学機構 小樽商科大学副学長)
伊藤 実枝子 委員(株式会社コンフィ 代表取締役)
庄司 正史 委員(公認会計士)
苫米地 司 委員(学校法人北海道科学大学 理事長)
成田 吉明 委員(医療法人溪仁会 副理事長)

4 議事

- (1) 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果について
- (2) 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の財務諸表に係る知事の承認に関する意見について

5 配付資料

- 資料1-1 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果の概要(案)
- 資料1-2 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果(案)
- 資料1-3 令和3年度業務実績報告書に係る項目別確認表
- 資料2-1 令和3年度財務諸表の概要
- 資料2-2 令和3年度財務諸表
- 資料2-3 令和3年度財務諸表に係る知事の承認に関する意見について
- 参考資料1 北海道地方独立行政法人評価基本方針
- 参考資料2 北海道公立大学法人札幌医科大学年度評価実施要領

6 議事内容

議事(1) 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果について
(鈴木部会長)

早速議事に入りたいと思います。本日は、それぞれの議事ごとに、事務局から説明を受け、委員の皆様からのご意見等いただきながら、審議をいただきたいと考えております。

なお、本日の議事の審議につきましては、部会の専決事項となっておりますので、本日

の部会において決定し、8月26日に開催予定の評価委員会に、その結果を報告することとなります。それでは、最初の議事、令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果について、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、令和3年度の業務実績に関する評価結果についてご説明させていただきます。評価結果の取りまとめ案につきまして、資料1-1、及び資料1-2でお示しさせていただいているところですが、はじめに資料1-3の項目別確認表をご覧くださいと思います。

この資料1-3につきましては、法人から提出のあった業務実績報告書における自己点検・評価に対しまして、評価委員会としての評価を確認するための資料でございます。項目別確認表ですが、表紙を1枚めくりまして、令和3年度、年度計画に掲げられている60項目につきまして、中ほどの欄に、法人の自己点検・評価、右側の欄に、評価委員会の強化を記載しておりまして、Sが1個、Aが53個、Bが6個のS Aが54個と表示されているところがございます。

欄の中で網掛けとなっているところがございます、「4(1)地域医療への貢献」のうち、評価項目番号33番及び35番、「5(1)国際交流及び国際貢献」のうち、評価項目番号38番の3項目につきましては、前回7月22日の部会におきまして、ヒアリング及び意見交換を通じて検証を行った結果、法人の自己点検・評価と異なる評価結果となった項目でありまして、それにつきまして個別にご説明させていただきます。

まず、40ページの評価項目33番をご覧ください。こちらにつきましては各種審議会委員等の就任件数、講師等派遣件数の数値目標に関しまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により依頼が減少した状況においても、オンラインも活用しながら、依頼に対し積極的に協力したところではございますが、目標に比べて大きな乖離があるところのご議論がございました。これを踏まえまして、評価委員会意見としまして、右側の欄にあるとおり、意見を付しまして、評価結果をB評価にすることを提案させていただくものでございます。

次に、43ページ評価項目番号35番です。こちらにつきましては、保健医療学部における公開講座等のうち、地域で勤務する看護、リハビリテーション、福祉等の専門職対象研修会については、その次のページにも目標回数を記載しているところですが、年3回以上のところを2回で、目標に達していないというご議論がございました。これを踏まえまして、評価委員会の意見としまして、右側の欄にあるとおり、意見を付しまして、評価結果をB評価にすることを提案させていただくものでございます。

最後に、46ページ、評価項目番号38番をご覧ください。国際交流の着実な推進について、大学間交流協定校数の増2校以上、海外留学率10%以上との数値目標を、令和6年度までに達成する仕様となっております。大学間交流の協定校数は、令和元年度に1校結んでおりますが、海外留学率の数値は変わらず、取り組みの進捗は足踏み状態が続いており、最終的な達成が難しい状況と考えられまして、改善に向けた取り組みを進めることが重要との議論がございました。これを踏まえまして、評価委員会の意見として、右の欄のとおり、意見を付しまして、評価結果B評価ということを提案させていただくものでございます。

この結果、もう一度、表紙の裏のページに戻っていただきますが、全60項目のうち、自己点検・評価でのB評価は3項目だったのが、3項目が増えまして、6項目となったところでございます。SとAを含む評価につきましては90%となっております。

表の一番右側の項目別評価であります。昨年度と同様、中期項目の区分に従い、9項目に区分して評価しており、年度評価実施要領に定める項目別評価の評価基準に基づき、全てSまたはAの項目であれば、「Ⅳ 順調に進んでいる」、SまたはAの割合が概ね9割以上の項目は、「Ⅲ おおむね順調に進んでいる」、SまたはAの割合割合が概ね9割未満の項目につきましては、「Ⅱ やや遅れている」と評価しています。

なお、評価基準では、「Ⅴ 特筆すべき進捗状況にある」、「Ⅰ 重大な改善事項がある」という評価もございますが、事務局案としてはこれに該当するものがないとしております。

以上の考えの下、評価結果を取りまとめた案につきましては、次にご覧いただく資料1-1及び資料1-2の整理させていただいているところでございます。

資料1-1は、評価結果の概要案で、資料1-2は、評価結果報告書の本体の案でございますが、報告書本体でございます資料1-2をご覧ください。

資料1-2の1ページ目の最初、「1 主旨」の欄でございますが、こちらには評価の実施根拠などを簡潔に記載しているところでございます。

「2 評価結果」以降に具体的な評価結果を記載しております。

「(1) 全体評価」の「①総括」についてでございますが、令和3年度の業務実施状況について検証を行い、「②業務の実施状況」のとおりであることを確認したところでございます。これを基に、先ほどご説明した中期目標の中項目の区分である9項目について評価を行ったところ、「Ⅳ 順調に進んでいる」が4項目、「Ⅲ おおむね順調に進んでいる」が1項目、「Ⅱ やや遅れている」が4項目となり、総合的に勘案しますと、令和3年度の業務実績は、「おおむね概ね順調に進んでいる」と認められているところでございます。

また、昨年度と同様ですが、令和4年度は進捗状況がやや遅れてる項目や目標に達していない項目について改善に取り組み、第3期中期目標期間の達成を目指していただきたいという文言を付記しているところでございます。

2ページ目、「②業務の実施状況」でございますが、法人から提出された業務実績報告書を基に、9項目それぞれの業務の実施状況を記載しております。

なお、令和3年度の全期間にわたって、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けたが、対応可能な手段を検討して、代替策を講じ、計画達成に向けて取組を推進した旨を記載しているところでございます。

また、引き続き道からの要請に応じ、感染症患者の受け入れ体制を整備し、治療に当たるとともに、医療機関に対する支援を行うなど、地域医療体制の構築、確保に積極的に取り組む重要な役割を果たした旨を記載しているところでございます。

以下、「**1**教育」から「**9**その他の業務運営」までの9項目それぞれの業務の状況についてですが、4ページ以降の「(2) 項目別評価」の主な内容を記載しておりまして、特にS評価、上回って実施しているとなった取組ですとか、B評価、十分に実施してないといった取組について触れることとしております。

なお、「**4**社会貢献」及び「**5**国際交流及び国際貢献」におきましては、先ほど、資料

1 - 3の説明でご提案させていただいた意見をそれぞれ記載しています。

4 ページ以降の項目別評価ですが、それぞれ概略を説明させていただきます。

まず、4 ページ「**1**教育」につきましては、全14項目のうち、A評価が13項目、B評価が1項目となっております。全体の9割以上（92.9%）がA評価でございまして、項目全体として「Ⅲ おおむね順調に進んでいる」と評価ができるということでございます。

なお、B評価は5 ページの一つ目の「○学修成果の評価（評価項目番号9番）」でございしますが、新卒者の国家試験合格率につきましては、医師は90%となりまして、目標94%、これに達しなかったというものでございます。

続きまして、5 ページ「**2**研究」の分野でございまして、全5項目ともにA評価でございまして、項目全体として「Ⅳ 順調に進んでいる」という評価でございまして、主な取り組みにつきましては記載のとおりでございます。

続きまして、6 ページ「**3**附属病院」でございしますが、全8項目のうち、A評価が7項目、B評価が1項目であり、A評価以上が全体の9割に達しなかった（87.5%）ため、項目全体として「Ⅱ やや遅れている」との評価となります。なお、B評価は7 ページに記載がありますが、「○病院の経営改善に向けた不断の取組（評価項目番号27番）」にございしますが、高度医療の提供に伴う高額医薬品の使用料増加などにより、診療収入に対する医薬材料費の割合が目標に達しなかったものでございます。

続きまして、7 ページ「**4**社会貢献」でございまして、全10項目のうち、S評価が1項目、A評価が7項目、B評価が2項目であり、これもA評価以上の全体の9割に達しなかったため（87.5%）、項目全体として「Ⅱ やや遅れている」という評価になります。

なお、S評価は丸の一つ目、「○医師派遣の要請、診療支援体制の対応（評価項目番号28番）」になりますが、こちらにつきましては、道との協定により入院調整業務や、宿泊療養施設における相談医、オンコール対応、ワクチン接種会場などのために、医師の派遣を行ったということが特に評価できるということでございます。

B評価ですが一つ目は、8 ページの丸の一つ目、「○地域医療や健康づくり活動などへの支援（評価項目番号33番）」でございしますが、先ほど、資料1 - 3でご説明させていただいたとおり、札幌医大の自己点検・評価結果と異なる評価をしており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により依頼が減少した状況においても、オンラインも活用し、依頼に対して積極的に協力したところでございますが、目標に比べ大きな乖離があることから、評価結果をB評価とすべきであると整理しております。

B評価の二つ目は、同じく8 ページの丸の三つ目、「○保健医療学部における公開講座等の開設（評価項目番号35番）」であり、この項目につきましても、先ほど説明したとおり、札幌医大の自己点検・評価結果と異なる評価でございまして、当地域で勤務する看護、リハビリテーション、福祉等の専門職対象研修につきましても、目標に達しなかったことから、評価結果をB評価とすべきであると整理したところでございます。

続きまして、9 ページ「**5**国際交流及び国際貢献」でございまして、こちらにつきましては、全2項目しかございませんが、2項目のうち、A評価が1項目であり、B評価が1項目ということになりまして、A評価以上の全体の割合が9割に達してない（50%）ため項目全体として、「Ⅱ やや遅れている」と評価をしたところでございます。B評価は、「○海外大学等との国際交流の取組（評価項目番号38番）」でございしますが、この項目に

つきましても、資料1-3で説明したとおりですが、札医大の自己点検・評価結果と異なる評価でございまして、指標数値目標である2項目の取組の進捗は足踏み状態が続いており、最終的な達成が厳しいという状況も考えられ、改善に向けた取組を進めることが重要と思われることから、B評価とすべきであると整理したところでございます。

続きまして、9ページ「**6**業務運営及び効率化」につきましても、こちらにつきましても、全6項目ともA評価でございまして、項目全体として「IV 順調に進んでいる」と評価をしているところでございます。主な取組につきましても、記載のとおりでございまして。

続きまして、10ページ「**7**財務内容の改善」でございまして、全4項目のうち、A評価の項目が3項目ございまして、B評価の項目が1項目でございまして。A評価以上が全体の9割に達しておらず(75%)、項目全体としては、「II やや遅れている」との評価になります。

なお、B評価は、丸の一つ目、「○外部研究資金、寄付金、その他の自己収入の確保(評価項目番号46番)」でございまして、科学研究費補助金の申請数につきましても、目標に達しなかったものであります。

続きまして、11ページ「**8**自己点検評価及び情報の提供」です。こちらにつきましても、前2項目ともA評価でございまして、項目全体として、「IV 順調に進んでいる」という評価でございまして。主な取組については記載のとおりでございまして。

最後に12ページ「**9**その他の業務運営」です。こちらにつきましても、全9項目、いずれもA評価でございまして、項目全体として、「IV 順調に進んでいる」との評価になっております。主な取組につきましても、記載のとおりとなっております。

14ページから15ページにつきましても、「3 項目別詳細」の「(1) 総括表」として、年度計画全60項目を列記しまして、法人の自己点検・評価と評価委員会の検証結果を一覧形式で整理したものでございまして。

16ページから21ページは、「(2) 各項目」として9項目ごとのS、A、B、Cの数と主な取組状況、評価委員会の評価、特記事項を整理したものでございまして。

続きまして、22ページになります。こちらにつきましても、「4 所見」についてでございまして。前回の部会において議論のございました、令和4年度の医学部入学者数につきましても、将来の地域医療に貢献する資料人を育成するためにもIRを活用した検証を行うなど、来年度以降の入学者の確保に向けた取組を進めるよう期待する旨、記載しております。

ここで前回の議論のおさらいをしますと、医学部の定員につきましても、本来の定員は実は100名となっております。国の緊急医師確保対策によって2名追加の102名が、恒久的な定員として認められておりまして、その後、地域の医師確保の観点から、毎年、臨時定員分8名を国に要望いたしまして、それが認められ、110名となっている経緯がございまして。

令和4年度の入試につきましても、大学共通テストの難化等により、臨時定員分8名のうち1名しか合格しませんでした。医大でも、この結果を受け、一般試験に振り分けることなどの検討したところでありまして、国にも振替が可能かどうかの確認を取ったところでございまして、国の通知で、地域の医師確保対策のための合格者であるため、事前に募

集要項において、修学資金制度や卒業後の適用されるキャリア形成プログラムの詳細を明記しなければならないことから、認められなかったとのことをごさいます。

入学者の確保につきましては、項目別評価には含まれておりませんが、札幌大の大きなタスクといたしまして、地域医療への貢献は課せられた使命であるといったことから、入学者の確保につきましては、IRを活用した検証などの取り組みを進めるべきという前回の部会での議論を鑑みまして、過去の年度評価や期間評価の記載方法を踏まえて、所見として記載させていただいたところをごさいます。

最後に、23ページ以降につきましては参考といたしまして、業務実績に関する評価の基準、北海道地方特別行政法人評価委員会公立大学部会委員名簿、本年度評価委員会及び公立大学部会の開催状況、予定もありますが、法人の概要を記載しているところをごさいます。以上が、資料1-2説明をごさいます。

資料1-1をごさいます。今ご説明いたしました評価結果の概要版として作成したものでございまして、ただいま説明した資料1-2の全体評価及び項目別評価を抜粋した内容としているところをごさいますので、説明は省略させていただきます。

令和3年度業務実績に関する評価結果（案）の説明は以上をごさいます。

（鈴木部会長）

はい。ありがとうございます。それでは、ただいま事務局から説明がございました評価結果（案）について意見交換をしたいと思ひます。この結果につきまして、委員の皆様から何かご意見ご質問等ございましたらお願いしたいと思ひます。

<発言なし>

（鈴木部会長）

昨年も9項目だったのですね。

（事務局） そうです。項目は変わっておりません。

（鈴木部会長）

昨年の内訳はどんな感じだったのでしょうか。昨年も全体でおおむね順調だったかと思ひますが。

（事務局）

昨年は、「Ⅳ 順調に進んでいる」が5項目、「Ⅲ おおむね順調に進んでいる」が1項目、「Ⅱ やや遅れている」が3項目となっております。合わせて9項目をごさいます。

（鈴木部会長）

今回はやや遅れているというのが4項目で、おおむね順調が1項目ということで、ぎりぎりおおむね順調ということですね。やや遅れているというのが1つでも増えると全体評価も下がると。以前よりもかなりメリハリのある評価と思ひますが、委員の皆様いかがで

しょうか。

<発言なし>

(鈴木部会長)

所見を付けたのは初めてということになるんですね。

(事務局)

年度評価につきましての所見は初めてでございます。

(鈴木部会長)

所見を今回付けたので、これを実施していただきたいと思います。

他に委員の方々から何かご質問等ございましたら、よろしく申し上げます。

<発言なし>

(鈴木部会長)

ご意見等ございませんか。それでは、令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果につきまして、この原案のとおりと決定いたしまして、評価委員会に報告したいと思いますが、これでよろしいでしょうか。

<「はい」「賛成です」との発言あり>

(鈴木部会長)

ありがとうございます。それではそのように決定いたします。なお、報告内容の微細な修正につきましては、部会長の私にご一任いただきたいと思います。

議事(2) 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の財務諸表に係る知事の承認に関する意見について

(鈴木部会長)

それでは、次の議事であります。(2) 令和3年度北海道公立大学法人札幌医科大学の財務諸表に係る知事の承認に関する意見につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料2-1、2-2をご覧くださいと思います。

資料2-1、令和3年度を財務諸表の概要をご覧ください。本資料は、前回ヒアリングを行いました資料2-2の財務諸表のポイントをまとめたものでございます。単位は百万円で表記しておりまして、百万円未満を四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合がございますが、ご了解願いたいと思います。

また、括弧書きの数字につきましては前年度である令和2年度の金額となっております。

ろでございます。

それでは資料2-1を説明させていただきます。令和3年度の収支状況を明らかにしております、損益計算書、右側でございますが、損益計算書の表をご覧ください。

初めに、右側の表のうちの左側の経常費用の欄についてでございますが、教育研究費、診療経費、受託研究費、人件費、一般管理費などの経常費用がございまして、合計が380億3400万となっております、前年度と比較いたしますと11億8700万円の増となっております。前年度と比較いたしますと、高額医薬品等の増に伴った診療経費が5億5100万増、新型コロナウイルス感染症対応による人員増に伴いまして、人件費が1億7100万円の増、大学管理棟や教育研究棟が新しく建設され、その移設に係る発生した一般管理費等が1億3000万円、このような増加要因が挙げられており、昨年よりも増加しているところでございます。

次に、右側の経常収益の欄をご覧ください。こちらは、運営費交付金収益、授業料、附属病院収益、受託研究費収益、補助金等収益などの経常収益は合計で391億7100万円で、前年度と比較いたしますと3億2700万円増加しているところでございます。

前年度と比較いたしますと附属病院収益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、やはり入院患者数が伸び悩んだものの、外来患者数は増加しているとともに、入院、外来の診療単価を向上させるなど、診療の確保を図った結果、3億2400万増をいたしまして、新型コロナウイルス感染症関連の補助金等の増加により、補助金等の収益が4億円増加して、収益増加を図ったところでございます。

経常収益から経常費用を差し引きました経常利益につきましては、左側の経常費用の列の下から3段目ですが、11億3000万円の利益となっております、この利益から臨時損失分400万円を引き、その引いた分が当期純利益11億3300万となっておりますところでございます。

あわせて、令和3年度附属病院の人件費ですとか、大学の教育研究費等に充てるために、前中期目標等の期間繰越積立金9億1900万円を取り崩して、当期総利益は記載のあります20億5100万円の利益となっておりますところでございます。

黒字決算となった要因といたしましては、附属病院におきましては、やはり新型コロナウイルス感染症の患者の受入に対しまして、専用病床ですとか、医療従事者の確保が必要のために病床の一部の休床によって、入院患者数が減少となったというマイナスの要因がある一方で、新型コロナウイルス感染症の病床確保の支援する国の交付金により補填されたほか、入院、外来診療単価を向上させたなど、病院独自の経営努力によるものと考えているところでございます。

なお、この当期総利益点線の矢印で繋がっている資料左側の①貸借対照表の当期末処分利益と一致しています。

また、⑤利益の処分に関する書類（案）にあるとおり、当期総利益の処分につきましては、全額を目的積立金として整理しております。ただし、当期総利益の額に変更はございませんが、積立金の整理におきまして、現在、道の財政課と協議を行っているところでございまして、会計処理上発生する現金の裏付けのない利益が3億円あり、これを積立金、残りの17億5100万円を、目的積立金として整理する方向で協議をしているところでございます。

これらの財務諸表につきましては、法人の監事及び会計監査人が実施した監査におきまして、地方独立行政法人会計基準に基づいて作成されており、法人の財政状況等を適正に表示しているとのことをご報告を受けております。

なお、資料2-2につきましては、7月22日の部会におきまして配付させていただいたものと同じ資料でございます。ここでの説明は割愛させていただきます。

次に資料2-3をご覧ください。こちらにつきましては、令和3年度の財務諸表に係る知事の承認に関する評価委員会意見（案）について、これからご審議いただくことですが、ご承認をいただけましたら、(2)に記載のとおり、公立大学部会としましては、意見なしと結論に至ったとのこと、評価委員会に報告したいと考えているところでございます。令和3年度財務諸表の承認に係る意見についての説明は以上でございます。

(鈴木部会長)

ただいま事務局から説明のありました内容につきまして、委員の方皆様、ご意見等ございますでしょうか。

<発言なし>

(鈴木部会長)

私は、当然素人ですけれども、1つお聞きしたいのは、今年も利益は出ているわけですね、黒字になったということですか。全体的に出ている中で、積立金を取り崩したっていうのは、何か理由があったのでしょうかね。

(事務局)

年度当初の資金として取り崩すということもあるのではないのでしょうか。

(鈴木部会長)

年度当初ですか。年度末に取り崩して充てたというものではないのですね。利益が出たのでまた目的積立金に戻したということでしょうか。これは毎年手続きを行っているということでしょうか。

(事務局)

黒字になれば協議を行っております。

(鈴木部会長)

赤字で取り崩す場合も当然あるのですね。

(事務局)

そういう場合もございます。

(鈴木部会長)

他に委員の方々からご質問等ございますでしょうか。

<発言なし>

(鈴木部会長)

ご意見ないようでしたら、前回部会における札医大へのヒアリングや、ただいまの事務局からの説明を踏まえまして、札幌医科大学の財務諸表の承認に係る評価委員会の意見につきましては、「意見なし」ということでよろしいでしょうか。

<「はい」との発言あり>

(鈴木部会長)

それでは、案のとおり決定いたしまして、評価委員会に報告することといたします。

引き続きまして、知事に提出する評価委員会の意見の文案についてですが、資料2-3「(2) 評価委員会の意見(案)」に記載しているとおりでよろしいでしょうか。

<「はい」との発言あり>

それでは、札幌医科大学の財務諸表の承認に係る評価委員会としての意見につきましては、案のとおりとして評価委員会に提出することといたします。

それでは、その他といたしまして、事務局から説明がありますので、よろしくお願いたします。

(事務局)

ご審議ありがとうございました。次回の評価委員会は、第1回評価委員の本委員会でございます。公立大学部会と試験研究部会それぞれで決定いたしました、札幌医科大学及び道立総合研究機構の令和3年度業務実績評価結果と財務諸表の承認に係る意見に関してご報告させていただくこととなります。

開催日時につきましては、8月26日(金)10時からとしておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本日と同様、オンラインにて開催させていただき予定でございます。詳細につきましては改めてお知らせいたしますが、委員の皆様にはお忙しいところ大変恐縮でございますが、ご参加につきまして、よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

(鈴木部会長)

ただいまの説明につきましてご質問ありませんでしょうか。

それでは、本日の議事につきましてはすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しすることといたします。

(事務局)

鈴木部会長ありがとうございました。これをもちまして、令和4年度第2回北海道地方

独立行政法人評価委員会公立大学部会を終了させていただきます。委員の皆様、本日はありがとうございました。

(了)